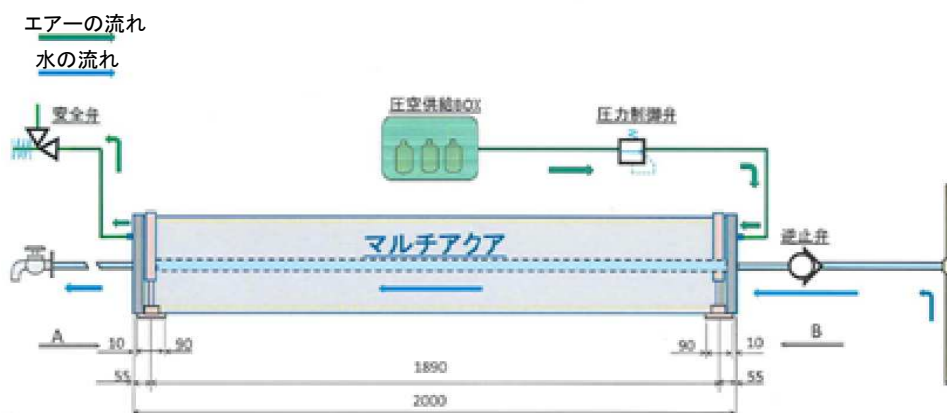


# マルチアクアの特徴

## 【特徴】

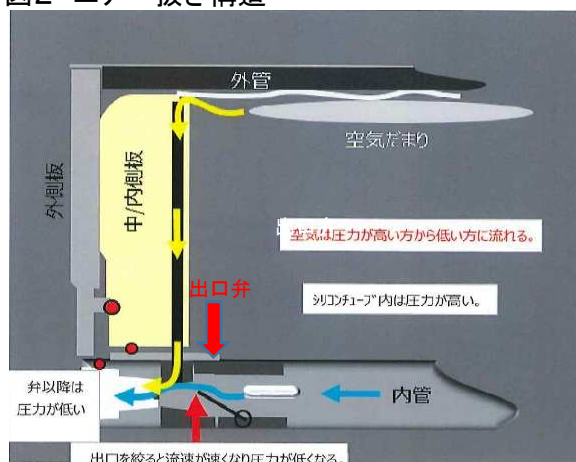
- 本体は接液部からシリコンゴム、塩ビ管、SUS管の3層構造で形成されています。断水時はシリコンゴムと塩ビ管の間にエアを注入することにより水を取水することができます。直接空気に触れない構造になっており、いつでも新鮮な水が取水できます。
- 本製品は横置きはもちろん、縦置きも可能なためデッドスペースを有効利用することができます。
- 本製品は120Lで大容量のため、飲用のほかにトイレ等の生活水にも利用が可能です。
- 使用人数に応じ増設可能です。
- 断水時の作業はカートリッジポンペを差込むだけで簡単に取水が出来ます。
- 取水の動力源を蓄電池+小型コンプレッサー等に変更ができます。
- 本体はメンテナンスの必要がありません。
- ホームスプリンクラー設備も追加が可能です。

図1 システムの流れ



- エアー抜きの必要がありません。  
非常用貯水タンク内部のエアをなくすためには、通常 エアー抜き弁を設置し、配管出口をタンクの下に接続しています。そのため 外径が大きくなり、床下等の設置が難しい状況です。本製品は配管接続口を管の中心として自動エアー抜き構造により、本体の高さは360mmまで低くなり床下等の狭いスペースでの設置が可能となります。  
内部構造は図2の通りです。

図2 エアー抜き構造



## エアー抜きの流れ

1. マルチアクア内に水がたまる。
2. 内管内の出口弁で絞り圧力差をつくる。
3. タンク内の圧力が高くなる。
4. 空気だまりは内側板の空気穴をとおり圧力の低い弁後方より排出される。

- 水が停滞しません  
内部の水が停滞することによる死水を防ぎます。内管よりスパイラル状に水が循環する構造で内部の水が停滞することはありません。  
※日本水道協会の非常用貯水タンクの基準をクリアしています。